

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 けん玉を よんで、健の気持ちの変化を1つえらびましょう。

けん玉を買ってもらった健は、大皿に玉をのせる技を三日で覚えた。けれど同じ技ばかりくり返すうちに、あくびが出るようになり、だんだん箱から出さなくなった。ある日、兄がだまって玉をくるりと回し、けん先にすんとさして見せた。健は目を丸くし、次の朝からまた毎日けん玉をにぎった。

- 1 同じ技ばかりであきていたが、兄にはげまされてまたやる気になった。
- 2 技がうまくできず落ちこんでいたが、新しい技を見てまた夢中になった。
- 3 技がうまくできず落ちこんでいたが、兄にはげまされてまたやる気になった。
- 4 同じ技ばかりであきていたが、新しい技を見てまた夢中になった。

2 道案内を よんで、時計を見て声を上げたときの真央の気持ちを1つえらびましょう。

近所のおばあさんに駅への道をたずねられた真央は、駅までいっしょに歩いて案内した。おばあさんは何度も頭を下げ、真央にあめを一つくれた。家に帰ると、まだだれも帰っていなかった。時計を見た真央は、「あっ」と声を上げた。楽しみにしていたテレビ番組が、ちょうど終わったところだった。

- 1 見たかった番組を見のがしたと気づいて、がっかりした。
- 2 おばあさんの役に立てたことを思い出して、うれしくなった。
- 3 帰りがおそくなったので、家の人にしかられると思った。
- 4 おばあさんにもらったあめを、落としたと気づいてあわてた。

3 いとこの赤ちゃんを よんで、おばさんに声をかけられたときの陸の気持ちを1つえらびましょう。

陸は、生まれて一か月のいとこをはじめてだっこした。思ったよりずっと軽くて、やわらかい。赤ちゃんが小さく声をもらすと、陸は「泣かせたらどうしよう」と息を止めて、指一本動かさなくなった。おばさんが「かわろうか」と言うと、陸は声を出さずに、何度も小さくうなずいた。

- 1 泣かせないかと気が張りつめているが、まだかわりたくない気持ち。
- 2 泣かせないかと気が張りつめていて、早くかわってほしい気持ち。
- 3 かわいくてむねがいっぱいで、まだかわりたくない気持ち。
- 4 うでがつかれてきたので、早くかわってほしい気持ち。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

大皿の技は『三日で覚えた』のに、『同じ技ばかり』で『あくびが出る』ようになり、箱から出さなくなりました（あきた）。兄は『だまって』技を見せただけで、はげましの言葉はありません。

2 答え：1

『あっ』と声を上げたのは、楽しみにしていた番組が『ちょうど終わったところだった』からです。家にはまだだれもいないので、しかられる心配ではありません。

3 答え：2

赤ちゃんが声をもらすと『「泣かせたらどうしよう」と息を止めて、指一本動かさなく』になりました（気が張りつめている）。『かわろうか』に『何度も小さくうなずいた』ので、早くかわってほしいのです。『軽くて』とあるので、うでのつかれではありません。

読み取るコツ

気持ちの変化は、前と後の様子をくらべます。行動や体のようす（息・口もと・目）に注目します。